

## 1 黄梅歌「野山の風」

黄梅戲の劇中で歌われるメロディーはとても美しく人々の関心を引くものでした。やがてそれは流行歌となり、劇を離れて表現されるようになります。これが黄梅歌です。

歌「野山の風」は若い男女の歌のやりとりで構成されています。「黄梅歌は土の香りがする野山の風のように。皆が歌い、その歌声はいつまでも心のなかに漂い続ける」と歌われます。

## 2 黄梅小劇「鬧花灯」とうかとう

中国の伝統的な節句である元宵節（旧暦一月十五日。日本でいうところの小正月にあたる）に飾るランタンを花灯といいます。この時期は街中いたるところに花灯が飾られ、とてもにぎやかな雰囲気になります。

小劇「鬧花灯」では王小六という男が妻を連れて花灯を見物するシーンが描かれます。夫婦二人が交互に歌い、色とりどりのランタンに心を弾ませる様子を表現しています。歌と踊りで構成される黄梅戲の特質を明確に伝えるこの「鬧花灯」は、黄梅小劇の名作といわれています。



## 3 黄梅戲『小辞店』より、歌「来来来」

単身で故郷をはなれ商売をはじめた青年・蔡鳴鳳が寒さに身を縮め投宿した先での物語。宿屋の女主人は柳鳳英という。博打狂いで日がな一日賭場から動かず家庭を顧みない夫に不満をつのらせていた。そんな時に会ったのがまじめで誠実そして温厚な青年商人。ふたりは惹かれあい、恋におちてゆく。だが、蔡青年は実家に戻らねばならなくなった。嘆き悲しみ別れのときを迎える……

「来来来」で描かれるのは男女の別れのシーン。ふたりが出会った当初を回想しながら、名残惜しく別れがたい感傷的な情景を紡ぎだします。

## 4 黄梅戲『女駙馬』の一場面「状元府（状元府にて）」



馮素貞は幼馴染の李兆廷と結婚を許された仲だったが李家は零落してしまつた。両親は貧乏を嫌って破談にさせ、そのうえ宰相・劉氏の息子に嫁がせようとした。馮素貞は男装して逃げ出し上京、李兆廷の名で科挙を受けてトップで合格し、状元となった。状元府にて喜びで胸をいっぱいにし、彼を助けに故郷へ戻ろうとしたその時、公主（皇帝の娘）との縁談が持ち上がる。結婚まで待たなし！氏名と性別を偽る主人公、ここに進退窮まれり……

## 5 黄梅戲『天仙配』の名場面「夫妻双双把家還（家路）」

〈セリフの日本語訳〉裏面にセリフの中国語（ピンイン）あります

“樹上の鳥はつがいを成し、青い山水笑顔を見せる  
 気ままに摘んだ花一輪、妻の髪にさしてやる  
 これからは受けぬ奴隷の苦、夫婦揃って家へと帰る  
 あなたは耕作、私は機織り、私は水汲み、あなたは水やり  
 家はボロでも風雨は避ける、夫婦の愛は苦しくとも甘い  
 あなたと私はまるでオシドリ、翼並べて人の世を飛ぶ”





## 黄梅戲『天仙配』の名場面「夫妻双双把家還（家路）」 中国語セリフ（ピンイン付き・翻訳は表面）

※ピンクは女性パート、ブルーは男性パート。最後は男女で輪唱します。

shu shang de niao er cheng shuang dui lu shui qing shan dai xiao yan  
树上的鸟儿成双对，绿水青山带笑颜

sui shou zhai xia hua yi duo wo yu niang zi dai fa jian  
随手摘下花一朵，我与娘子戴发间

cong jin bu zai shou na nu yi ku fu qi shuangshuang ba jia huan  
从今不再受那奴役苦，夫妻双双把家还

ni geng tian lai wo zhi bu wo tiao shui lai ni jiao yuan  
你耕田来我织布，我挑水来你浇园

han yao sui po neng bi feng yu fu qi en ai ku ye tian  
寒窑虽破能避风雨，夫妻恩爱苦也甜

ni wo hao bi yuan yang niao bi yi shuang fei zai ren jian  
你我好比鸳鸯鸟，比翼双飞在人间  
好比鸳鸯鸟，比翼双飞在人间

※女性が「你我好比」まで歌ったら、男性が続いて「好比」から歌い始めます。（かえるの歌の輪唱のように追いかけて歌います）

